

グレートリセットか、 脱線か、反攻か： 3つの世界シナリオ

キヤノングローバル戦略研究所
研究主幹 杉山大志

シナリオプランニングとは



公式の未来

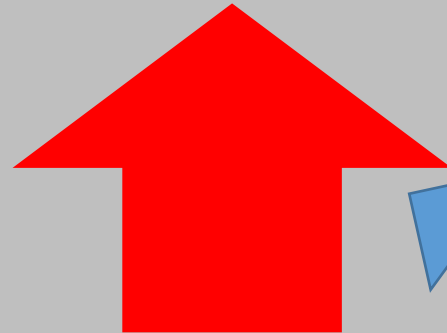
現在

脱線



複数の
ありうる未来
に備える

反攻



3つのシナリオ

グレート・リセット
再起動



グリーン金融
グリーン製造業

脱炭素
先進国復権

グレート・デレイル

脱線



産業空洞化

中国依存

OPECプラス覇権

中国の覇権

グレート・リアクション
反攻



エネルギー危機

世界インフレ

グリーンバブル崩壊

炭素の復権

グレート・リセット 再起動



グリーン金融
グリーン製造業

脱炭素
先進国復権





グレタ・トゥーンベリ



反 経済成長
反 技術

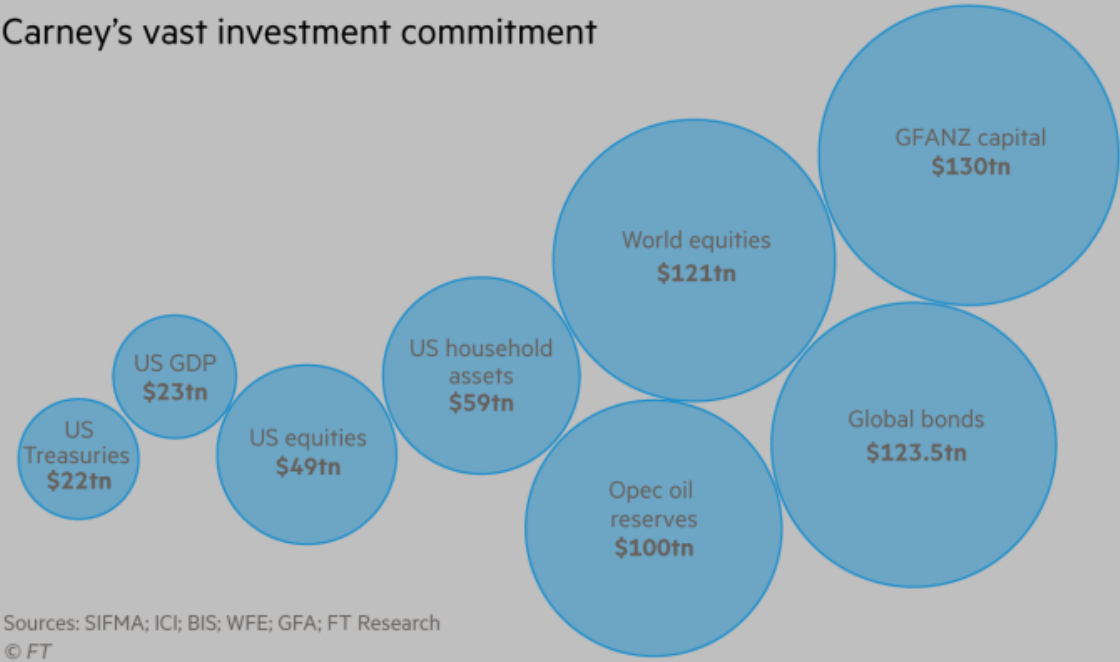
<https://web-willmagazine.com/international/NbPu3>

ドイツ赤緑政権



<https://premium.toyokeizai.net/articles/-/28847>

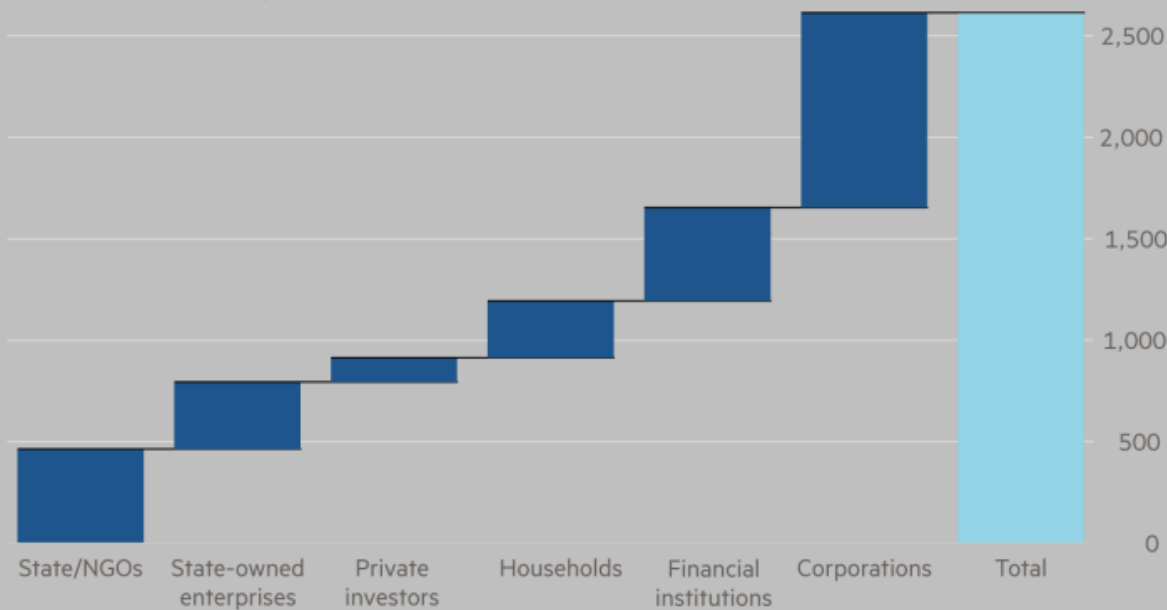
Carney's vast investment commitment



金融 GFANZ

Glasgow Financial Alliance for Net Zero

Towards net zero
Annual investment required 2021-25 (\$bn)



<https://www.ft.com/content/87690ee9-c9b1-44b6-881b-368139560295>

「再起動」シナリオ “グレート・リセット”



1. ドイツで赤緑政権成立 G7議長 グリーンシフト
2. 政府による大型財政支出継続
3. 先進国金融 グリーンシフト

- A) 再エネ・EVが成功
- B) 化石燃料 衰退
- C) 先進国に重要鉱物・製造業復活
- D) COP 継続的な脱炭素政策強化
- E) 地政学 G7の復権

**グリーン成長で
先進国が復権する**

グレート・デレイル

脱線



産業空洞化

中国依存

OPECプラス覇権

中国の覇権

COP26@英国グラスゴー



先進国

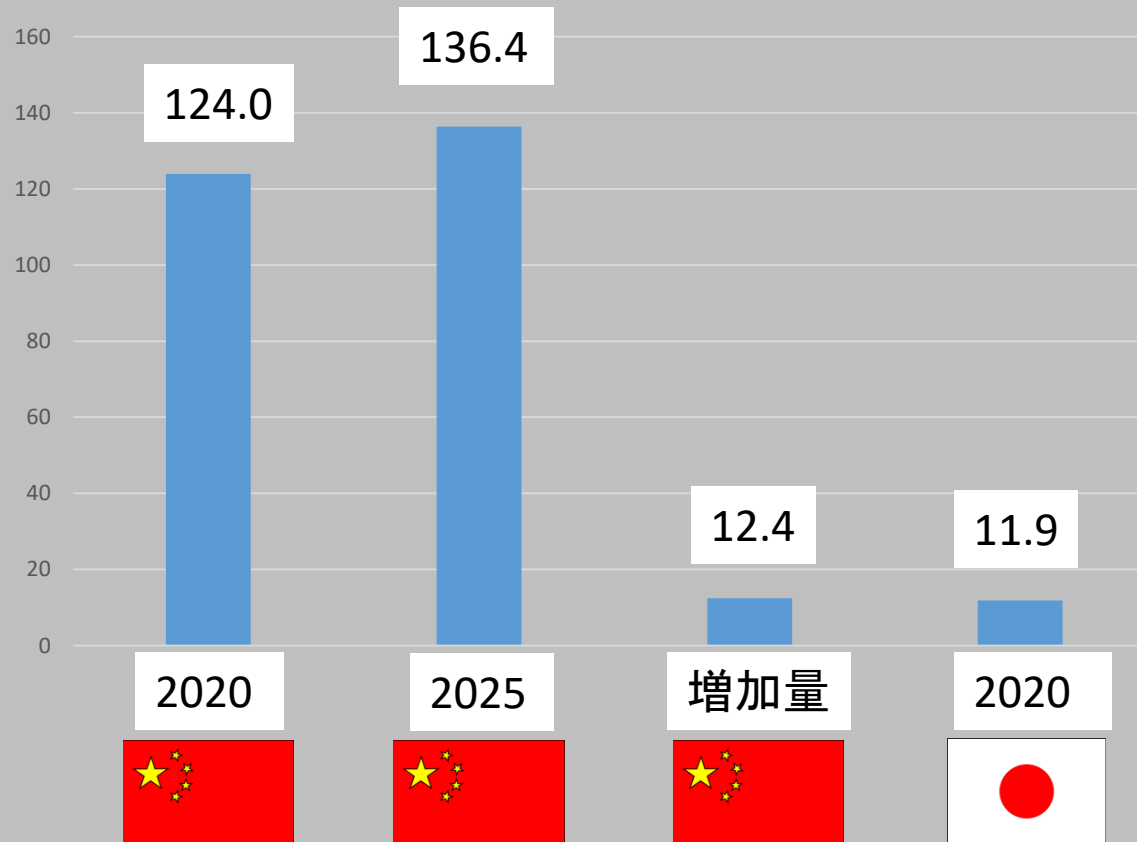
$\Delta 50\% @ 2030$

CO2ゼロ @ 2050

中国は？

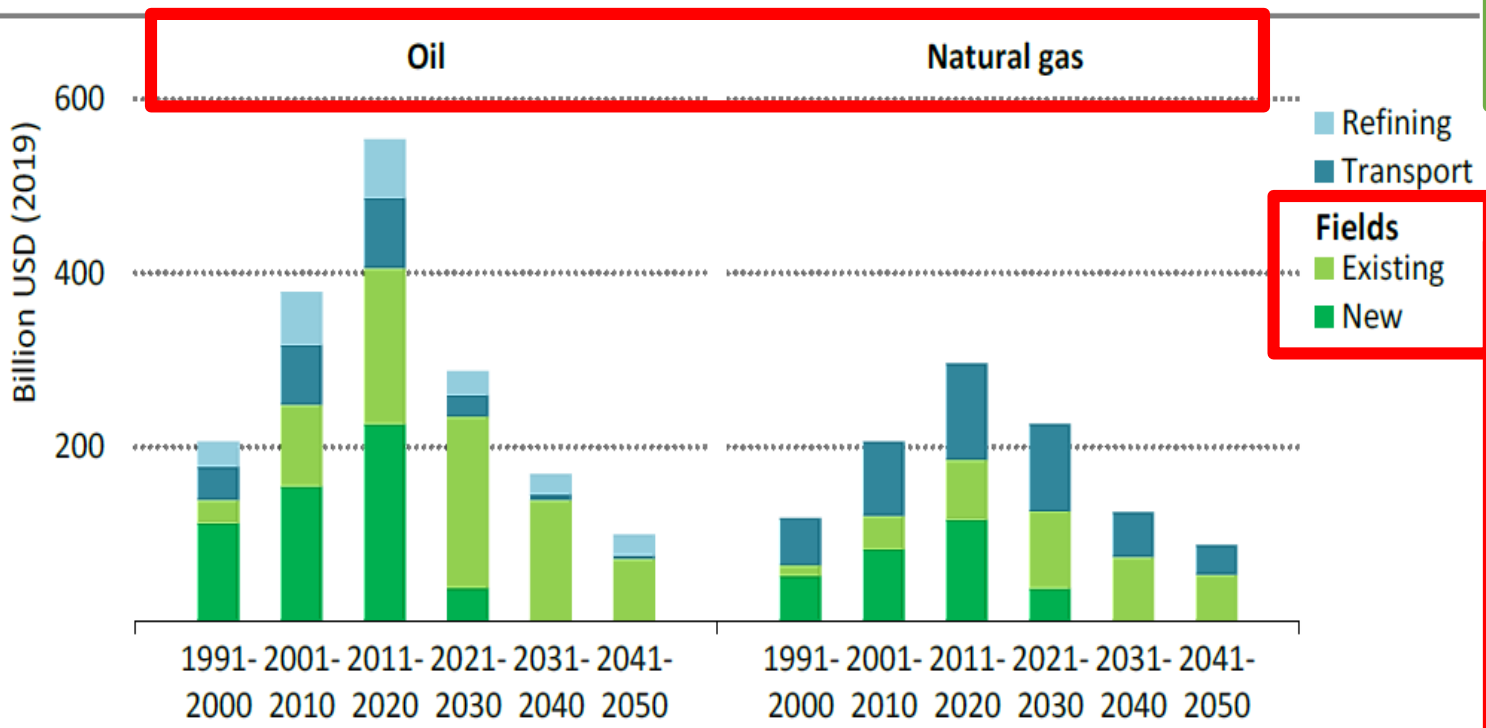
CO2等の排出量

単位: 億トン



「超限戦」
「戦わずして勝つ」

Figure 3.4 ▶ Investment in oil and natural gas supply in the NZE



IEAのネットゼロシナリオ

「油田・ガス田投資停止」

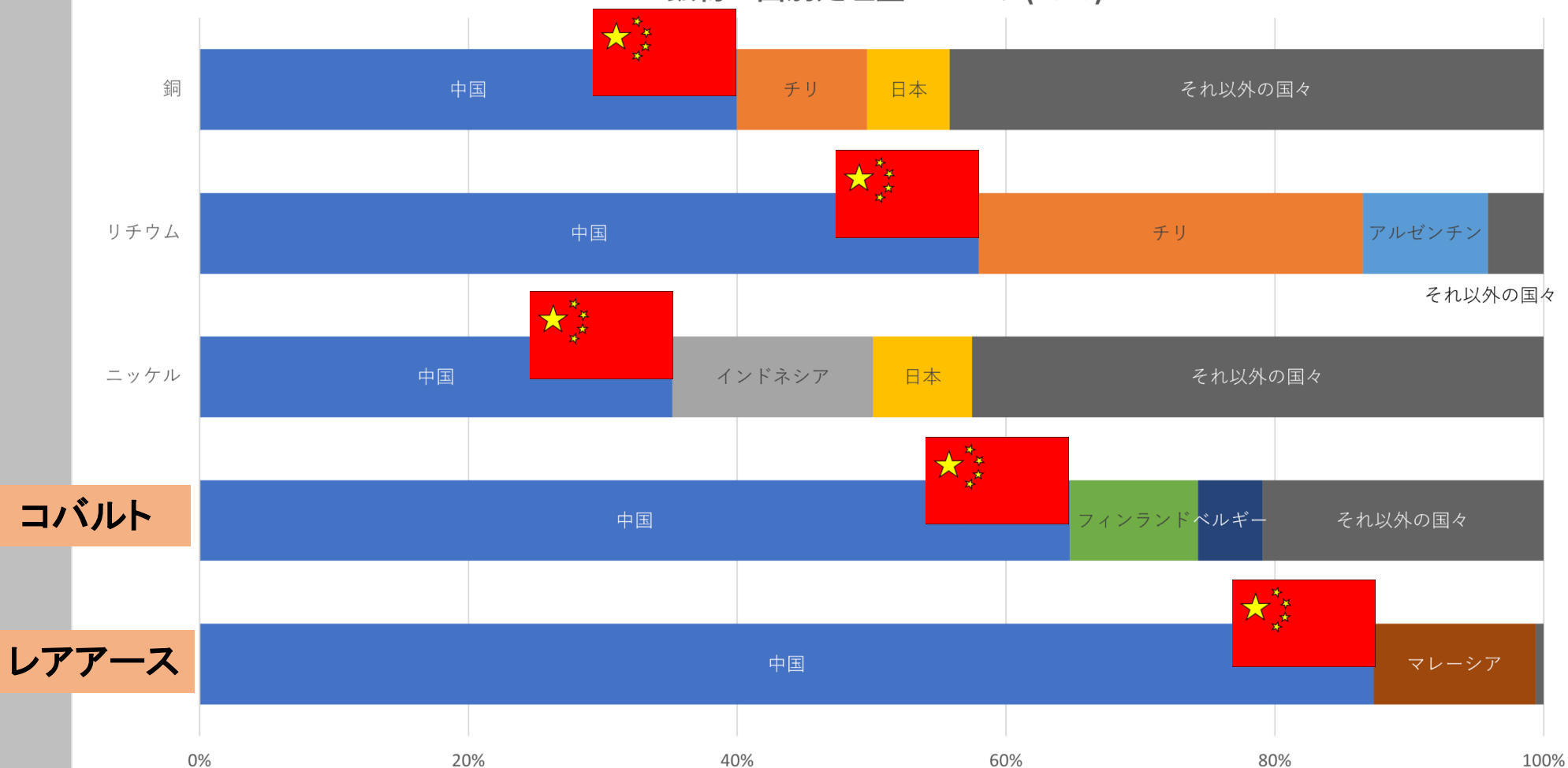
Once fields under development start production, all upstream oil and gas investment is spent on maintaining production at existing fields

Note: Investment in new fields in the 2021-2030 period is for projects that are already under construction or have been approved.

石油・ガス市場が
OPEC・ロシアに
支配される

(IEA)

鉱物の国別処理量のシェア(2019)



脱炭素≠脱物質

中国依存

Note: The values for copper are for refining operations.

Sources: World Bureau of Metal Statistics (2020); Adamas Intelligence (2020) for rare earth elements.

「脱線」シナリオ “グレート・デレイル”



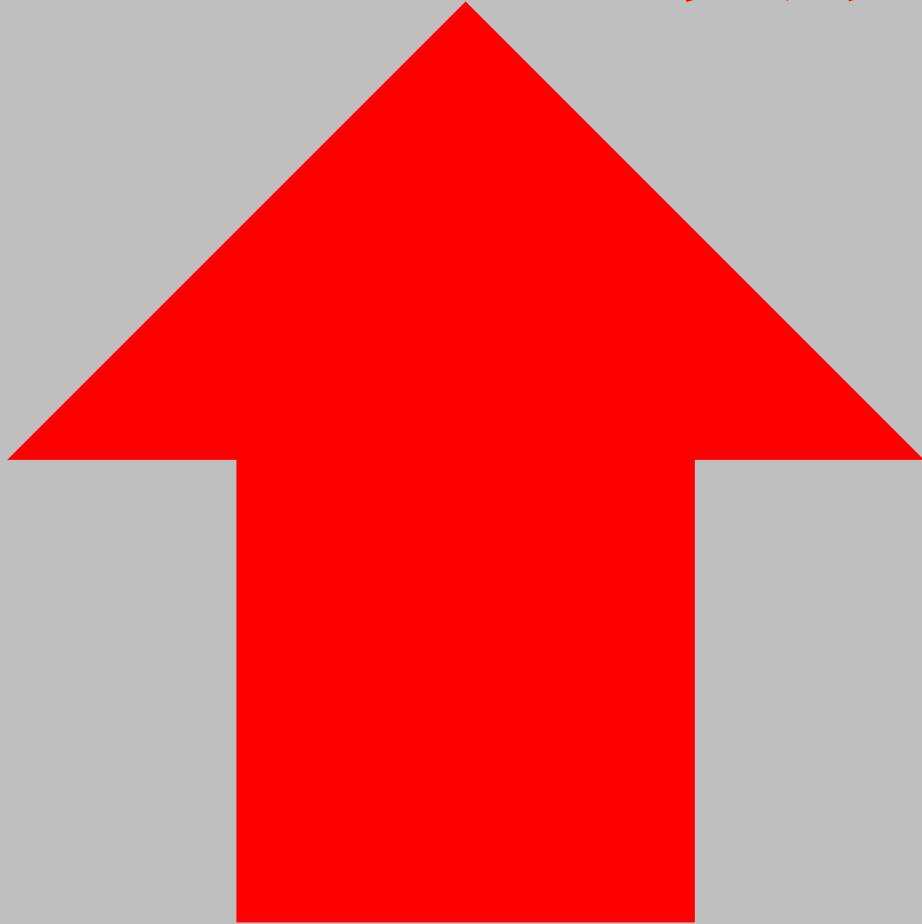
1. ドイツで赤緑政権成立 G7議長 グリーンシフト
2. 政府による大型財政支出継続
3. 先進国金融 グリーンシフト

- A) 先進国エネルギー供給・集約産業 衰滅
- B) 石油・ガス供給 OPECプラスヘシフト
- C) 重要鉱物、製造業 中国ヘシフト
- D) COP グリーンウオッシュのPR祭典
- E) 地政学 G7から中国他へ

独裁主義が勝利

世界の覇者に

グレート・リアクション 反攻



エネルギー危機
世界インフレ

グリーンバブル崩壊
炭素の復権

風吹かず、ガス不足
ガス・電気の価格高騰
ロシアvsウクライナ



脱炭素が招いた
エネルギー危機

英国　ベイカー元ブレクジット大臣



反「脱炭素」は
ブレクジットに次ぐ聖戦

ジョー・マンチン(民主党、ウェストバージニア)



**産業・雇用
インフレ懸念**

米国は脱炭素しない

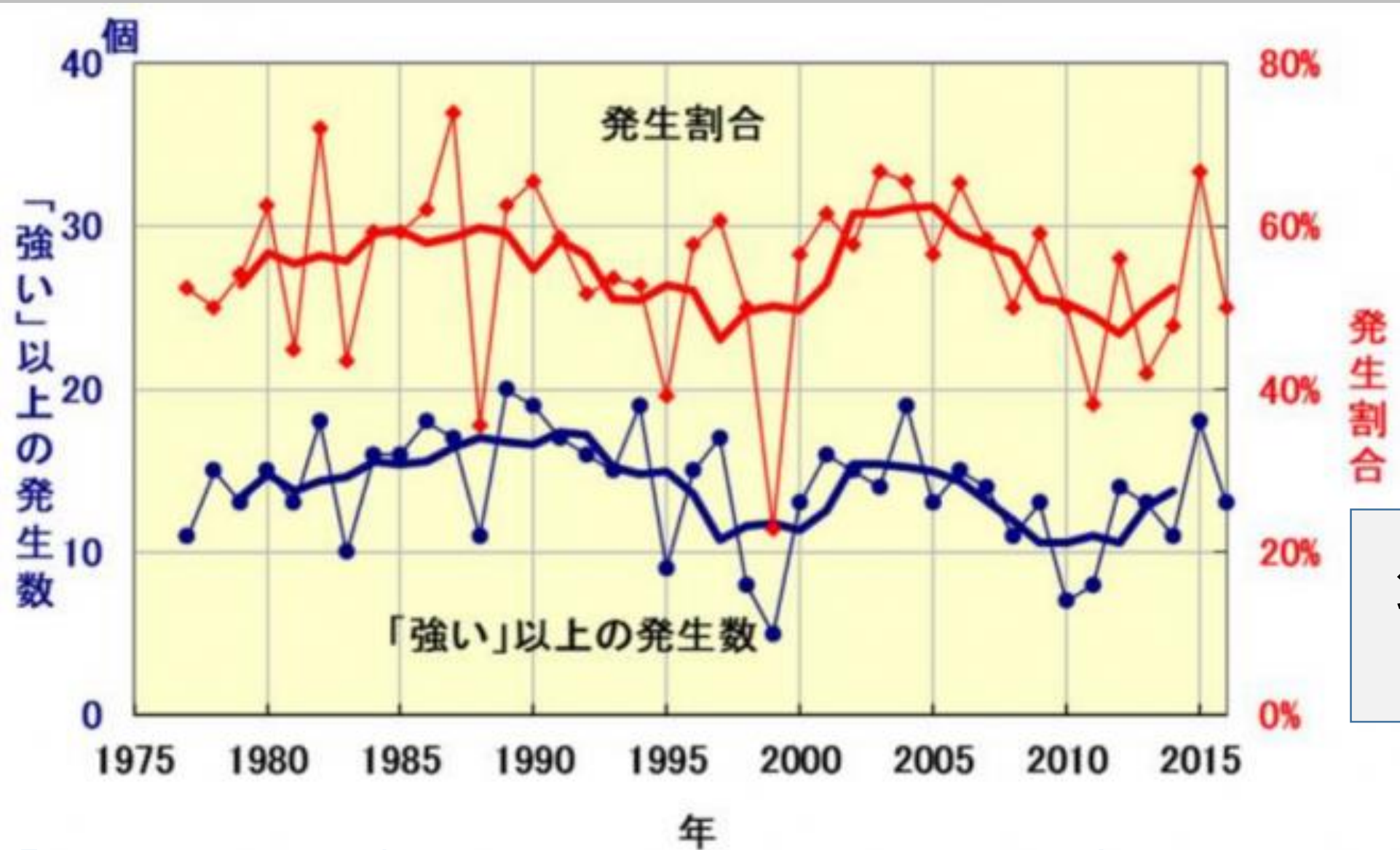
Revealed: UK solar projects using panels from firms linked to Xinjiang forced labour

Investigation finds up to 40% of UK solar farms were built using panels from leading Chinese companies



PVの八割は中国
半分は新疆ウイグル

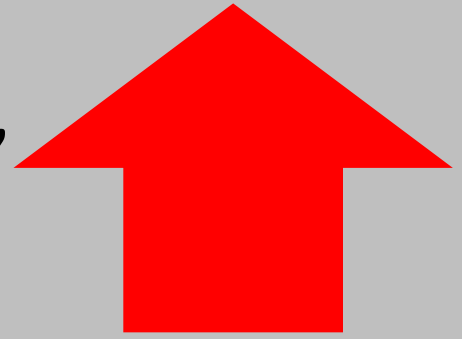
PVは問題だらけ
政策支援が消えれば
バブル崩壊



災害の「激甚化」など
起きていない

「強い」以上の勢力になった台風の発生数（青：左軸）と全台風に対する割合（赤：右軸）。太線は5年間の移動平均。出典：気象庁

「反攻」シナリオ “グレート・リアクション”

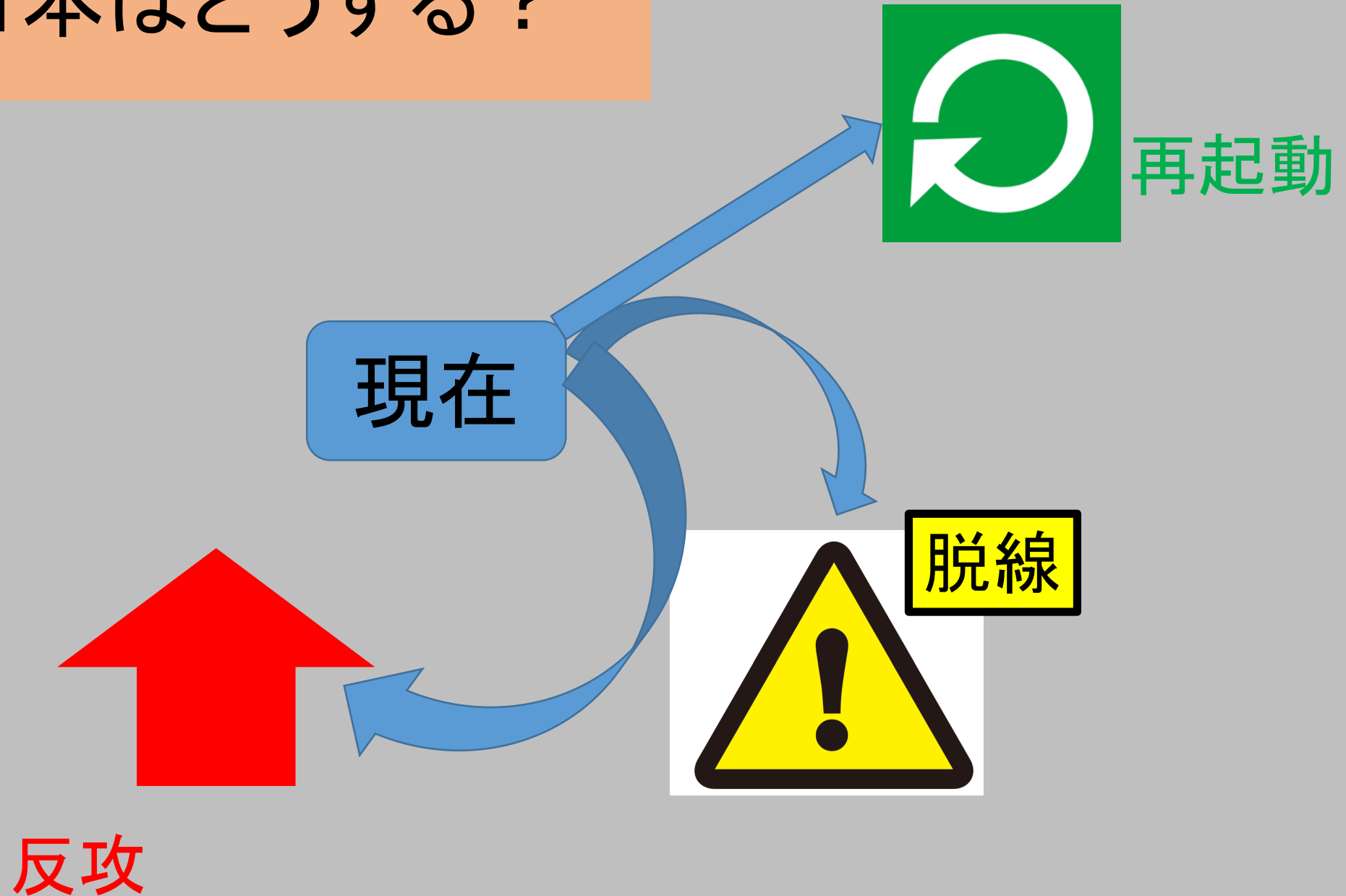


1. エネルギー危機が継続
2. インフレ。金融引き締め。
3. 米国の脱炭素が議会で否決、バイデン政権レームダック。
4. グリーン株・ファンド暴落、景気後退。

炭素の復権

- A) 反PV運動、反EV運動。脱炭素政策後退。
- B) 日本で政変、エネルギー基本計画見直し、「再エネ最優先」取りやめ。化石燃料復権。
- C) COP27&28..は南北問題の場に

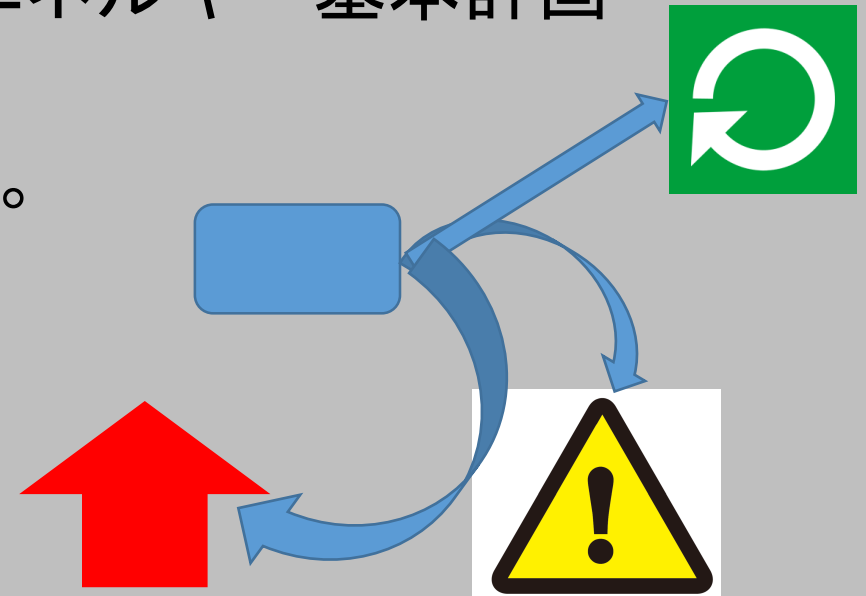
それで、日本はどうする？



採るべき政策アクションは

1. 経済・安全保障を重視した現実的なエネルギー・資源政策（原子力、化石燃料）
2. 脱炭素の経済負担についての国民的議論
3. 国益に資する技術開発を推進（小型原子炉、核融合、次世代バッテリー、デジタル材料・部品開発、等）
4. 2030 △46%、2050ゼロを「ビジョン」に留め、エネルギー基本計画から切り離す(豪州方式)。
5. 温暖化の科学について「レッドチーム」を設置。

レッドチーム：「ある組織の有効性を改善するように挑む独立したグループ」で、「対象組織に敵対的な視点から検討する役割を持つ」。これは「強い文化や固定された方法で問題解決する硬直的な組織」に対して、特に有効。米国の軍・諜報機関はレッドチームを活用している



字を読む人向け

図を見る人向け

ベストセラー



(産経新聞出版)

全般



(アマゾン他)

科学

電子版
99円

電子版
199円



(アマゾン他)

経済・政治